

氏名： 足立 真理子 (ADACHI Mariko)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
学位： 経済学修士 (東京大学)
職名： 准教授
専門分野： 経済学、国際経済学、ジェンダー分析、
E-mail： adachi.mariko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

グローバル化/ケアの国際移転/再生産/世帯保持/ジェンダー

◆主要業績

総数 (8) 件

- ・ 足立真理子「再生産領域のグローバル化と世帯保持 householding」
伊藤るり・足立真理子編著『国際移動と連鎖するジェンダー—再生産領域のグローバル化』作品社
224 - 262 頁 2008 年 3 月
- ・ 足立真理子「不況と女性」足立真理子・伊田久美子・木村涼子・熊安貴美江編著
『フェミニスト・ポリティクスの新展開—労働・ケア・グローバリゼーション』明石書店 17 - 54 頁、
2007 年 9 月
- ・ 足立真理子「ケアのグローバル化—ケア労働の国際移転と日本的状況」
足立真理子・伊田久美子・木村涼子・熊安貴美江編著『フェミニスト・ポリティクスの新
展開—労働・ケア・グローバリゼーション』明石書店 159 - 176 頁、2007 年 9 月
- ・ 足立真理子「雇用と失業の間」足立真理子・伊田久美子・木村涼子・熊安貴美江編著
『フェミニスト・ポリティクスの新展開—労働・ケア・グローバリゼーション』明石書店
336 - 354 頁、2007 年 9 月
- ・ S. カレンバーク他著「経済学と知：ポスト / モダン・合理性・フェミニズム・贈与」
監訳長原豊 (足立真理子第Ⅲ、Ⅳ部監訳) 御茶の水書房 2007 年

◆研究内容 / Research Pursuits

現代における最重要問題の一つにグローバル化の進展があげられる。
グローバリゼーション研究は、法、政治、経済、文化の各専門分野にわたるが、主流の学問方法は国際貿易、金融・情報・生産の国際配置といった生産領域にのみ焦点を当てている。しかしながら、現在グローバル化の深部で進行しているのは、生命、身体、身体部位、生殖、出生行動、世帯、高齢化、介護といった再生産領域全般にわたって展開しているグローバル化、たとえば国際結婚の増大、代理懐胎や臓器などの身体部位の国際取引、介護・看護労働者の国際移動、国際送金を含む女性の貨幣収入の増大と世帯内部の関係などである。これらの諸問題を、＜再生産領域のグローバル化＞として把握し、アジアを中心に現状分析をおこなうとともに、現在の主流派経済学におけるモデルにおいては不十分にしか扱えていない事象に対する、新たな理論的考察をおこなっている。

◆教育内容 / Educational Pursuits

開発経済学および国際経済学の基礎理論を学ぶとともに、「ジェンダー論」の社会科学的な基礎知識の習得をめざしている。大学院前期課程においては、昨年度は「現代の貧困」をテーマに取り上げ、「絶対的貧困」「相対的貧困」「貧困指標」など基礎概念を学習するとともに、「貧困」論の内部でも、焦点の当たっていない領域とは何か、その領域とのジェンダーの関わり方などについて検討した。本年度は引き続いて貧困とジェンダーの関係について「居住」をキー・ワードとして学んでいく。博士後期課程では、ケアの国際移転の実証分析によって明らかになってきた、アジアにおける世帯保持（国際的に拡張する世帯組織）について、1980年代のReviews誌掲載論文から現代の論争までを取り上げて検討する。

◆研究計画

現在取り組んでいるのは、＜再生産領域のグローバル化＞論を、さらに発展させていくために、身体部位の国際取引、とりわけ代理懐胎・代理「母」問題における市場取引についての経済理論の検証である。そのため、代理懐胎における市場取引、特に「正当化される価格付け」に関する現状分析と倫理的・道徳的禁止およびその（意図せざる）効果などの問題を、制度比較をとおして検討している。この理論および現状分析から、どのような条件（初期条件および構築された制度）において、再生産領域のグローバル化が進展するのか（あるいはしないのか）を明確化することを目的としている。したがって、共同研究としては、生命・身体部位などのグローバルな取引関係を法制度・慣習・社会慣行を含めて考察する学際的研究が可能である。

◆メッセージ

グローバリゼーションの時代といわれる現代社会において、国際的な経済関係の動きは日々の生活の中にどのように浸透してくるのでしょうか。「貧困」という問題も、国家・地域、ジェンダー、世代などによって、きわめて多様な様相をもっています。これらの問題について、独自の想像力をもって関心を持ち、考えてほしいと思っています。